

## 環境人材育成プログラム開発・実証委員会（第5回）議事録

日時：平成23年1月25日（火） 17:00～18:30

場所：岩手大学 事務局2階 第一会議室

出席者：玉真之介（岩手大学理事・副学長、環境人材育成プログラム開発・実証委員会委員長、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事、岩手県幼小中高大専 ESD 円卓会議幹事）、大塚尚寛（岩手大学理事・副学長、環境マネジメント推進室長、INS：CSR／環境人材育成研究会会長）、牧陽之助（岩手大学人文社会科学部長、岩手大学人文社会科学部環境人材育成WG代表、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、後藤尚人（岩手大学人文社会科学部教授、いわて高等教育コンソーシアム幹事）、田中吉兵衛（岩手大学教員養成機構教授、岩手県幼少中高大専 ESD 円卓会議幹事）、山本健（岩手県立大学准教授、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、菊田哲（岩手県中小企業家同友会事務局長、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、藤原敏代（リコージャパン株式会社東北営業本部岩手支社環境管理責任者、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、平井孝典（岩手県環境生活部課長、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、藤井敬芳（盛岡市環境企画課長）、渡辺彰子（NPO 環境パートナーシップいわて代表）、長岡美和子（NPO ASIA Environment Alliance 理事長、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）

欠席者：成田公哉（岩手県環境生活部課長、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）

### 【配付資料】

1. 環境人材育成プログラム平成22年度の主事業について
2. NPO 法人 ASIA Environmental Alliance 学外実習「インドネシア・バリ島ツアー」概要
3. 環境管理実務士小委員会議事録
4. 環境管理実務士付与スケジュール
5. 学外実習提言書様式
6. 環境管理実務士登録用紙（案）
7. いわて環境人材育成フォーラム2011 チラシ原稿
8. 環境人材育成プログラム平成23年度の主事業について
9. 岩手大学2011年度環境人材育成プログラム学外実習一覧
10. 環境マネジメント科目報告
11. HESD フォーラム2010 報告
12. INS：CSR／環境人材育成研究会シンポジウム2010 報告
13. 平成22年度「第1回環境人材育成に向けた大学全体会合」報告
14. 平成22年（2010年）度「環境管理実務士」要綱
15. 環境人材育成プログラムリーフレット
16. いわて環境人材育成フォーラム報告書
17. 「テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動2010」報告書
18. 岩手大学ESD 銀河セミナー報告書「学生ボランティアと大学教育—大学による学生ボランティア支援—」

### 議題1 事業の進捗状況について

玉委員長と事務局から、資料1に基づき、今年度の環境人材育成プログラムの進捗状況について説明があった。

講義「環境マネジメント実践演習」について各委員から意見が出された。

- ・菊田委員：協力企業から、もっと学生とゆっくり関わりたいとの要望を受けている。
- ・藤井委員：盛岡市は、環境報告書の作成・普及に関する経済的支援を予定している。

玉委員長から、学外実習の概要が説明された後、長岡委員から、資料 2 に基づき、NPO 法人 Environmental Alliance が実施するインドネシア・バリ島での学外実習について説明された。説明の後、渡辺委員から、事前レクチャーの実施予定とメインとなる活動について質問された。長岡委員は、前者については説明会を開催する予定であること、後者についてはアグロフォレストリーがメインの活動になると返答された。

## 議題 2 「環境管理実務士」付与の手続きについて（資料 3～6）

玉委員長と事務局から、資料 3～6 に基づき、「環境管理実務士」付与・取得のスケジュール、学外実習提言書の様式と手続き、「環境管理実務士」登録用紙と手続きについて説明があった。

玉委員長から、「環境管理実務士」付与・取得のスケジュールについて、今年度はプログラム開発・実証委員会で「環境管理実務士」の付与審査を承認し、プログラム終了後は大学内部で審議・承認する方針が述べられた。

説明後、各委員から質問と回答・意見が出された。

- ・平井委員：提言対象、提言に対する対応について。
- ・玉委員長：提言対象は環境人材育成、学生が参加した学外実習、学外実習一般、社会問題一般など、テーマを広く設定する。環境人材育成プログラムに関する提言は検討して取りあげる。
- ・後藤委員：提言書の公開について配慮が必要である。
- ・玉委員長：学術的ルールを逸脱しない方法で配慮を行う。
- ・山本委員：提言書の公開については、学外実習の相手先と相談しながら進めたほうがよい。

大塚委員からは、「環境管理実務士」登録申込用紙の内容について質問が出され、事務局が回答された。

「環境管理実務士」付与・取得のスケジュール、学外実習提言書の様式と手続き、学外実習提言書の様式と手続き、「環境管理実務士」登録用紙と手続きについて、審議のうえ、了承された。

## 議題 3 いわて環境人材育成フォーラム 2011 について

資料 7 に基づき、事務局から説明があった。基調報告については、玉委員長から交渉中であることが報告された。チラシの作成を含めたフォーラムの準備を進めることが了承された。

## 議題 4 来年度の主な事業について

資料 8・9 に基づき、事務局から来年度の主な事業について報告があった。各委員から次のような質問と回答・意見があった。

- ・後藤委員：環境教育用 DVD のストーリーミング公開は検討されているか。
- ・大塚委員：公開する要件が整備されたので公開中である。  
(<http://www.iwate-u.ac.jp/movie/>)
- ・後藤委員：いわて高等教育コンソーシアム学外実習の参加者は少なかった。

- ・事務局：環境人材育成プログラムの学外実習全体の参加者が少なかった。
- ・玉委員長：学外実習の宣伝方法について検討する必要がある。いわて高等教育コンソーシアムとの連携をさらに考えたい。
- ・藤井委員：盛岡市は、IES 内部監査と環境報告書に関する学外実習で協力できるところを協力したい。
- ・藤原委員：中学生の環境学習体験を実施している。学生の内部監査受け入れは例がないのではないか。
- ・菊田委員：学生が誰でも参加でき、中小企業の経営者に話を聞く講座を検討中である。環境への取り組みを契機にして、地域に人材を残す取り組みを進めたい。環境報告書の品質レベルを確保することが必要である。

以上のような審議のうえ、来年度の事業について、大卒で了承された。

## 議題5 その他

特になし。

### 報告1 環境マネジメント実務の実習プログラム開発科目

「岩手大学の環境マネジメント」継続開講（2010年10月～2011年2月）

「環境マネジメント実践学」新規開講（2010年4～7月）

「環境マネジメント実践演習」新規開講（2010年10月～2011年2月）

### 報告2 HESD フォーラム 2010（上智大学）（2010年9月12日）

### 報告3 INS：CSR/環境人材育成研究会シンポジウム 2010（2010年11月27日）

### 報告4 環境人材育成プログラム大学全体会合（2010年11月29日）

事務局より、資料10～13に基づき、今年度の環境人材育成プログラムに関する科目・行事の報告があった。資料は、今年度の環境人材育成プログラム報告書に掲載されることが委員に伝えられた。その後、各委員から次のような質問と回答・意見が出された。

- ・田中委員：教員養成の観点から、環境教育にも取り組まなければならない認識が広がっている。岩手県幼小中高大専 ESD 円卓会議がテレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動を実施することで、環境分野への意識づけも広がっている。
- ・渡辺委員：学生と子供と一緒に環境教育活動を支援することが大事である。教材の活用方法について検討が必要である。
- ・平井委員：環境マネジメント実践演習や学外実習に対する学生の前向きな姿勢が印象的である。環境人材育成プログラムにさらに期待する。
- ・玉委員長：大学による環境への取り組みを就業力の向上につなげたい。高校生に対する環境への取り組みのアピールがまだまだ足りない。
- ・渡辺委員：岩手大学の学生による幼少期からの環境教育の経験についてうかがいたい。
- ・大塚委員：岩手大学環境マネジメント学生委員会には、小・中学校で環境教育の経験をしている学生が多く所属している。
- ・玉委員長：テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動は、中学生から参加が難しくなっている。

## 報告5 その他

特になし。